

台風・長雨が心配ですね。



止めましょう！
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団

2021.8.17. No.1820.

御相談はお気軽に
TEL FAX とも **3905-0970**

さからとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

8/12. 4,989人
8/13. 5,773人
8/14. 5,094人
8/15. 4,295人

新たな
感染確認

速報 東京
2,962人

▲月曜日として最多
▲重症患者 268人(都の基準)
7日連続で過去最多更新
~2021.8.26.9. NHK速報~

連日の都内感染
自宅療養の方は、全国で2万人突破

災害バレルの人災です。
日本共産党北区議員団と池内ひかり前衆院議員は
本日、北区長に緊急要望書と提出します。

＜主な内容＞ 1. 国と都にパラリンピック中止を求める。中等症患者の入院制限の撤回。宿泊療養施設の確保など。ワクチンの安定供給。大規模なPCR検査。
2. 北区として、保健所体制の強化。早期診断と重症化予防。自宅療養者への適切な診療など。

北区での今後の
ワクチン予約について
8月28日(土)正午~
12歳以上の予約を追加
受付すると発表しています。
8月30日~10月4日あたりは26,000人が入荷へ。



足止めた 青空に舞うサルズベリ

生放送! とことん共産党

内山雄人監督の映画
「パンケーキを毒味する」
上映館と上映回数が増えているようです。(鑑)

私、もちろん見ました。

◎8月10日の夜、日本共産党のインターネット番組「生放送/とことん共産党」には、この映画を撮られた内山雄人監督をゲストに迎え、小池晃書記局長と語りあいました。本日の「さがらレポート」ウラ面では、ご紹介しています。
◎映画は、ぜひ、映画館でどうぞ。

映画「パンケーキを毒見する」ポスター

86号線原告団ニュースの一部紹介

湧き水を涸らすおそれのある
道路は絶対に通させない!!

東京 23 区内の湧き水は、宅地造成の関係もあってほとんどが涸れてしまっています。都内の中でもここほどの水量は珍しく、何としても残さなくてはなりません。自然は一度壊したら戻せないにもかかわらず、都は計画があると強弁して検証すらしないまま建設を進めています。

湧き水をサリガワ〜カニなどを捕ります
小学生の田植え体験授業のようす。田んぼの水は湧き水から引用されている
道路予定地
多目的広場
水島池
多目的広場
湧き水は水島池へ注ぎこんでいる



8月24日 止めよう 86号線*2回目の証人尋問
開廷 1時30分~
東京地方裁判所
103号法廷です。

◎写真は、ことしの6月9日におこなわれた第1回目の時のもの。この日は、原告団団長の高山奇住職と赤羽西地域の3人の地権者の方が、心をこめて訴えました。◎今回、さがら区議は、公園は区民の宝物と語りつづけています。

笑って怒って あきれて選挙に行こう

2024.8.17 「さかいどろ」 NO.1820



「とことん共産党」に出演する（左から）小池、内山、朝岡、矢野の各氏

生放送！
とことん共産党

映画「パンケーキを毒見する」 内山監督と小池書記長語り合う

～2021年8月12日付「しんぶん赤旗」3面より～

菅義偉首相の実像に迫ったドキュメンタリー映画「パンケーキを毒見する」（新宿ピカデリーほか）は大ヒット公開中で上映館が全国に増えつつあります。同映画の内山雄人監督が10日夜、日本共産党のインターネット番組「生放送！とことん共産党」に出演し、製作の裏話や共産党のイメージなどについて司会の小池晃書記局長と縦横に語り合いました。内閣官房機密費の問題をスクープし、映画に登場する「しんぶん赤旗」社会部の矢野昌弘記者も出演しました。



映画「パンケーキを毒見する」ポスター

※ しんぶんになる時は、ネット予約をしてからが、よきそうぞう。

番組のオープニングに流れたのは映画のエンディングテーマ曲。司会の朝岡晶子さんが「監督と語り合う」で「菅政権」論。笑って、あきれて、怒って、選挙に行こう」という番組のテーマと監督の経歴を紹介しました。

「番組が始まる前から『映画見ました』とコメントが盛り上がってる」と切り出した小池さんは、「参院予算委員会の質問後に監督からインタビュースされた。映画の最初から僕が出てくるし、『赤旗』がかなりの分量で紹介される。正直、こんなすごい映画になるとは思っていなかった」と吐露しました。

内山さんは「政治ドキュメンタリーというジャンルは観客が限られる。むしろ『政治に関係ない』というように人に届けたい。難しくなく笑わせる構成にすることで政治バラエティーのようなどつつきやすさで見てもらえれば」と応じました。

映画は菅首相を知る人の証言を聞くことと取材し、ほとんどの関係者に断られます。他方で日本共産党の国会議員や「赤旗」編集の舞台裏を探っています。

ドキドキの訪問

小池さんが「共産党の『赤旗』になぜ取材を？」と尋ねると、内山さんは「国会にテーマが上がるようなスクープをするのは『週刊文春』か『赤旗』のどちらかしかない。ドキドキしながら党本部に初めて来たから日曜版編集長が気さくな感じで応対してくれた。魅力的な人が多かった」と語りました。

映画では小池さんと菅首相の論戦の模様を「国会パブリックビューイング」の上西亮子法政大学教授が解説します。NHKニュースでは、かみ合わない首相の答弁が、ちゃんと答えているのかのように編集されますが…。

内山さんは「報道として情報を伝える意味をなしていない。思考停止に近い判断で編集されている。小池さんのおかげで、国会ってこんなに笑えるぞというのが面白いところ」と紹介。

小池さんは「僕も笑っちゃったけど頭を抱える。（空疎なやりとりが）安倍前首相の頃から続いてきたが、菅首相との議論はむなしさが出てくる」と話しました。

共産党の魅力は

内山さんは「一般の人が気づかない共産党の魅力は？」「共産党には『閉じた』『難しい』イメージがある。弱点は？」と小池さんに問いかけました。

党の魅力について小池さんは、国会議員をつくりあげる上で議員だけでなく秘書、中央、地方の党職員、赤旗記者など全国の党組織の支えがある、他党にはない利点を強調。「党のマンパワーと共産党なら追及してくれるという信頼があった。情報に寄せられる。政治を何とかしたい、苦しんでいる人を何とか救いたいという怒りや思いが質問の切れ味を磨いている」と実感をこめて答えました。

党へのマイナスイメージについて小池さんは、発達した資本主義から出発していないソ連や中国の成り立ちと、日本での社会変革の遅いを説明。「暴力革命の方針を掲げたことは一切ない。誤解や偏見を解く努力を積み重ねていく。この映画は、党内や『赤旗』でどんな議論をしているのか取材した、かつてないもの。僕らにも力になる」と答えました。

映画のナレーターで俳優の古館真治さんが「投票率80%が日本人の革命」と呼びかけていることについて、小池さんは「今度の選挙で変えなきゃもうダメじゃないかと。僕らも危機感や熱量を共有していかねれば、一投票で政治に参加する。投票率さえ上げれば日本の政治は変わる」と言及。内山さんは若い世代が未来に夢を持っていない日本の現状を「おとなの責任だ」とのべ、「コロナ禍は政府のせいだと気づいてもらい、選挙にぜひ行ってほしい」と若者へメッセージを送りました。

難しくなく笑わせる構成 ■ 「政治関係ない」という人に届けたい